



9 年間の「つながり」を大切に

学校教育課 課長 林 克宏

小中一貫教育は、3 年の試行期間を経て、平成26年度からいよいよ全中学校区で本格実施になります。これまでの取組の成果から、「中 1 ギャップ問題の解消」や「学力の向上」において有効な手段となることが期待されています。ここで、もう 1 度、「つながり」ということの重要性を考えてみたいと思います。

小学校は中学校を、中学校は小学校を、程度の差こそあれ時として批判的な見方をすることがあります。その要因として、少ない情報からの推測や印象で判断してしまうことが考えられます。このような状況が案外大きな小中学校間の壁になっています。

教師は、子どもがどのような生活や学習をして小学校へ入学してきたのか、小学校時代をどう過ごしてきたのか、中学校でどのようなことを体験して卒業していくのか、理解を深める必要があります。そして、互いに小中学校間の壁を取り払うことが児童生徒の成長にとってとても大切なことになります。

小学校と中学校の学習や生活には、随分と違いがあります。発達段階から違って当たり前ですが、主なものをいくつか挙げてみましょう。

1 つ目は、児童生徒への教師のかかわり方です。

小学校の教師は、児童に対して「支援」「声かけ」「お世話」「見届ける」という言葉に表れるように、保護や養育という意識で接しています。これに対して中学校では、「指導」「説得」「自主性」「責任」「見守る」「監督する」「先輩・後輩」「礼儀」「集団」という言葉に表れるように、生徒の自主性や自立を強く促す接し方になります。

2 つ目は、時間の進み方です。

中学校の授業は小学校と比べ早いペースで進む傾向があります。また、中学校では、給食の時間も若干短くなり、休み時間、短学活の時間もゆっくりできることが少なくなります。また、教科担任制のため、時間厳守も求められます。小学校も時間厳守は求められますが、教師の判断で時間に融通を効かせることができます。

3 つ目は、テストの重みです。

小学校では、単元ごとにテストを実施することで学力の定着や向上を図っています。単元ごとであるため、テストの出題範囲も限られており、テストがあるから登校したくないとか、テストのために何日も前から負担を感じることはありません。一方、中学校では生徒は高校進学に際し入試があることの負担を入学の時から感じるようになります。また、年間 4 回程度の定期テストがあり、テストの重みを感じるようになります。

私たちは、小中一貫教育を進めることにより、児童生徒一人一人に確かな学力や豊かな心、健やかな身体を保障するとともに、いじめや不適応を解消し、さらに充実した楽しい学校生活を送ることができるような教育システムの構築を目指していきたいと考えています

試行を振り返って **これだけは伝えたい** 小中一貫教育!!

本格実施に向け、モデル中学校区の方々から、体験から実感した「これだけは伝えたい」ことに焦点付けて書いていただいた貴重な提言、第2弾です。

校長として大切にしてきたこと



下条中学校 校長 **水落純子**

3年間の試行を振り返って特に伝えたいことは、次の4点である。

- 1 校長の本気・情熱が取組の推進を左右する。
小中の校長ががっちり手を組んで基本構想を作り、職員に提示する。
- 2 中学校区の実態に即した、オーダーメイドの取組とする。

先行例を研究しつつ中学校区の実態を全職員で分析し、実態に即した取組をする。

- 3 組織を固め、機能させる。

校長は、方向性を提示したら、組織を動かし、企画させ、職員の参画意識を高める。取組は計画的に、PDCAを回して改善を図り続ける。

- 4 保護者・地域を巻き込んで取組を推進する。

保護者・地域に学校の方針や生徒の変容をこまめに発信する。学校職員の頑張りが保護者・地域に伝わるよう、諸便り、諸会合等、フルに活用する。保護者・地域の思いを反映させながら、共に子どもたちを育てる気運を高めていく。

学問のすすめ



松代小学校 校長 **山田正司**

当中学校区の活動には、番外編として、早稲田松代塾ジュニア（ラッタ）がある。小5から中3が10日間、大学生や高校生から指導を受ける機会を得ている。「勉強がおもしろい」との感想が圧倒的である。

今年、5年生に「竹取物語」の古文を訳させる機会があった。ほぼ完璧に訳した児童がいた。理由を聞くと、「ラッタ」で教えてもらったとのことである。楽しく学習すると難しい内容でも身に付くようである。

また、小4から中3を対象にメディアコントロール講演会を開いた。学校でも担任が指導した。結果、ゲームやテレビの視聴時間が短くなった。学校での指導は継続する。

家庭でゲームをする代わりに、楽しく学習したり読書をしたりしてくれることを願う。これが当中学校区の1つの課題である。

持続可能な取組を！



貝野小学校 教頭 **菊地雅樹**

中里地区は、各学校が離れて立地する「施設分離型」の小中一貫教育です。取組を進める中で大切だと感じたことは、「集まって一緒に実施することと、理念を共有して各々の学校で取り組むことを区別する」ということです。そのためには「小中一貫教育全体やそれぞれの事業で何をねらうのか」をよく議論して共通理解することが重要です。

最初は、全体計画立案や組織づくりなど少々大変かもしれませんが、しかし、そうした取組の中で、中学校区の教職員が互いに顔見知りになり、意思疎通ができるようになります。このことが、教育を推進する上で、とても大きな力になると実感しています。

無理をせず、育てたい子ども像に向かって事業の重点化を図り、持続可能な取組にしていくことが肝要であると思います。



小中一貫教育完全実施を前にして

奴奈川小学校 教頭 **佐藤一郎**

松代中学校区は、十日町市教育委員会から平成22年度に小中一貫教育モデル中学校区として指定を受け、取り組んで来ました。小中一貫教育というと、何か特別なことをしなければならないと構えてしまいがちですが、今までしてきたことを小中一貫の立場から見直すことで、十分な成果があることが分かりました。

そのためには、ねらいをもう一度見直し、小中9か年のスパンで何がどのようにかわり合い、子どもをどう育てたいのかを整理してみる。そして、それを全職員で共通理解し、全員で同じ方向に向かって取り組んで行くことが大切です。そのため、共通理解の場を年度当初に持ち、進捗状況を絶えず振り返りながら、みんなで地域の子どもたちを育てていくんだという気持ちを高めていくことが大切だと思っています。



あたたかく強い人間関係づくりを！

千手小学校 教諭 **佐藤俊昇**

知・徳・体の育成、及びいじめや不登校などの生徒指導上の課題解消は、小中一貫教育推進上の大きな目的です。これらの目的を達成するためには、児童・生徒一人一人が、学級の仲間と良好な関係を作っていくことが不可欠だと感じています。他校との各種交流会や、合同での行事なども有効ですが、学級内での人間関係の構築が最も重要だと思います。一日の大半を過ごす学校に、信頼しあえる仲間が大勢いることで、共に学んだり運動することに前向きになれるのではないのでしょうか。小学校入学（できればそれ以前）から、互いを思いやり、学級の一員であることに誇りを持てるような集団づくりを進めることで、小中一貫教育の目的に大きく近づけると思います。



本音で話せる小中一貫教育

倉俣小学校 教諭 **服部秀樹**

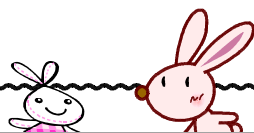
一番印象に残っていることは、モデル中学校区コーディネーター研修です。この時、中学校区ごとに成果や課題を本音で話し合いました。

話し合いの中、「どの班もやることを欲張りすぎていて、ほかの学校の真似事になってきてはいないか。」「もっと独自性を出したいなあ。」や「子どもたちの学力を、1点でも2点でも上げる教育をしていきたいことはみんなが考えている。」「小中連携の核となる部分がぼやけてきていないかな。」というような意見が出ました。

そんな意見を耳にし、自分なりに「成果を求め過ぎる傾向が逆に独自性を失わせ、児童や生徒との距離をつくる結果になってきていないか。」「様々なアンケート調査や分析をやってきたが、果たして対教職員、対児童・生徒に効果的な環境を提供できていたか。」という印象を持ちました。

今後、自分の意識をどのように向上させていけるかをつくづく感じた研修でした。

モデル中学校区の皆さん、3年間、本当に有難うございました！！
お陰で全中学校区の取組計画の作成が終わり、4月から、本格実施が始まります。



しゅうちゅう一貫 耳より情報

4月には次の研修が予定されています！

◇新任・転任教職員研修

4月3日（木）・4日（金）・11日（金）

14：00～16：45 十日町情報館

注意：十日町市に勤務経験があっても、小中一貫教育の試行を始める以前（平成22年度以前）の経験者は、研修の受講対象になります。

◇コーディネーター・統括コーディネーター研修

4月16日（水）14：00～16：40

十日町市川西庁舎



小中一貫教育にかかわる4月の活動予定



毎月ここに掲載している活動予定は、どなたでもその活動を見ていただけるように紹介しているものです。時間を見つけて、ぜひお出掛けください。その際には、当該学校へ一声掛けてからお出掛けください。

日 時 <内容>	会 場	見 ど こ ろ
4月10日（木） <推進部会> 15:15～16:00	田沢小学校	・中里中学校区では、小中一貫教育について、平成26年度の計画である「中里の子育成プラン」「チャレンジI」等について確認・検討を行います。
4月11日（金） <会議> 15:30～16:45	千手中央 コミュニティ センター	・川西中学校区では、川西地域教職員協議会総会で、平成26年度の小中一貫教育の全体計画や各部会の活動計画についての共通理解を図り、全教職員の取組への意識を高めます。
4月17日（木） <会議> 午後	水沢中学校区 会場未定	・水沢中学校区では、小中一貫教育について、平成26年度の取組についての確認・検討のための役員会を開催します。
4月22日（火） <推進会議> 10:30～12:00	松代中学校	・松代中学校区では、校長・教頭合同の推進会議を開催し、小中一貫教育について、平成26年度の取組の確認や検討を行います。
4月22日（火） <会議> 午後	水沢中学校区 会場未定	・水沢中学校区では、知・徳・体の3部会を開催し、平成26年度の取組についての確認・検討を行います。
4月22日（火） <推進会議> 15:00～16:45	松之山小学校 会議室	・松之山中学校区では、推進会議を開催し、平成25年度度の引き継ぎ事項を確認し、平成26年度の活動の方向を検討します。
4月30日（水） <会議> 16:00～16:45	松之山自然 休養村センター	・松之山中学校区の教職員が一堂に会し、平成26年度の方針を確認し、各部会に分かれて年度の取組を協議します。